



一体形LEDベースライト スクエアシリーズ

直付・埋込兼用形本体 □720タイプ、□570タイプ

(一般屋内用) 形名 LEET-77231 LEET-75731

適合スクエア光源タイプ - 一般光源ユニット形名				
明るさタイプ	昼白色 5000K	白色 4000K	温白色 3500K	電球色 3000K
FHP45形X4灯相当 12000lmタイプ ¹	調光	LEEM-S-71251N-LD9	LEEM-S-71251W-LD9	LEEM-S-71251WW-LD9
FHP45形X3灯相当 9000lmタイプ ¹		LEEM-S-70901N-LD9	LEEM-S-70901W-LD9	LEEM-S-70901WW-LD9
FHP32形X4灯相当 8000lmタイプ ¹		LEEM-S-70801N-LD9	LEEM-S-70801W-LD9	LEEM-S-70801WW-LD9
FHP32形X3灯相当 6500lmタイプ ¹		LEEM-S-70651N-LD9	LEEM-S-70651W-LD9	LEEM-S-70651WW-LD9
FHP23形X4灯相当 4500lmタイプ ¹		LEEM-S-70451N-LD9	LEEM-S-70451W-LD9	LEEM-S-70451WW-LD9
FHP23形X4灯節電 3000lmタイプ ¹		LEEM-S-70301N-LD9	LEEM-S-70301W-LD9	LEEM-S-70301WW-LD9

適合スクエア光源タイプ グレアセーブ光源ユニット形名				
明るさタイプ	昼白色 5000K	白色 4000K	温白色 3500K	電球色 3000K
FHP45形X3灯相当 9000lmタイプ ¹	調光	LEEM-G-70901N-LD9	LEEM-G-70901W-LD9	LEEM-G-70901WW-LD9
FHP32形X4灯相当 8000lmタイプ ¹		LEEM-G-70801N-LD9	LEEM-G-70801W-LD9	LEEM-G-70801WW-LD9
FHP32形X3灯相当 6500lmタイプ ¹		LEEM-G-70651N-LD9	LEEM-G-70651W-LD9	LEEM-G-70651WW-LD9
FHP23形X4灯相当 4500lmタイプ ¹		LEEM-G-70451N-LD9	LEEM-G-70451W-LD9	LEEM-G-70451WW-LD9
FHP23形X4灯節電 3000lmタイプ ¹		LEEM-G-70301N-LD9	LEEM-G-70301W-LD9	LEEM-G-70301WW-LD9

・下記組合せは、公共施設用照明器具形名となります。

公共施設用照明器具形名	光源ユニット形名	本体形名
LSS15-7-58	LEEM-S-70651N-LD9	LEET-77231
LSS15-7-80	LEEM-S-70801N-LD9	LEET-77231

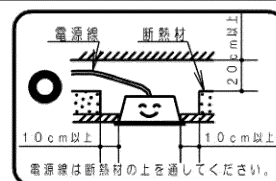
・器具の施工には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

施工説明 工事店様へ、この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。

安全に関するご注意



- 光源ユニットを単独で使わない。必ず東芝ライテック製スクエアシリーズ専用本体と光源ユニットの組合せで使用する。落下・感電・火災の原因となります。
- 施工は、施工説明にしたがい確実に。施工に不備があると落下・感電・火災の原因となります。
- 本体、光源ユニットを分解、改造しない。落下・感電・火災の原因となり
- 光源ユニットのカバーは樹脂製のため、取扱いに注意する。破損によるケガの原因となります。万一破損した場合、すぐに電源を切り交換してください。
- 光源ユニットが破損した状態で使わない。落下・感電・火災の原因となります。
- 表示された電源電圧（定格電圧±6%）・周波数で使用する。指定外の電源電圧・周波数で使用する、感電・火災の原因となります。
- 埋込施工の場合は断熱材、防音材をかぶせて使わない。火災の原因となります。
- 水平天井直付・埋込兼用ですので、壁取付はしない。落下・感電・火災の原因となります。



⚠ 注意

- 直射日光の当たる場所、湿気の多い場所、振動の強い場所、雨水のかかる場所、風の強い場所、腐食性ガスの発生する場所では使用しないでください。落下・感電・火災の原因となります。
- 周囲温度は、5～35℃で使用してください。指定外の周囲温度で使用すると、ちらつきや短寿命の原因となります。
- 一般屋内でご使用の場合でも、器具周囲に硫黄成分が存在する場所では使用しないでください。
(一部の食品や薬品、紙類には硫黄成分が含まれます。また、車の排気ガスにも硫黄成分が含まれます。) 光学性能に影響を与える場合があります。
- 光源ユニットのカバーは樹脂(ポリカーボネート)製のため、直射日光の当たる場所や蛍光灯が近接する場所などの紫外線の多い場所、ヘキサンやアセトンなどの有機溶剤が使用される場所では使用しないでください。カバーの劣化・破損の原因となります。
- 器具の取り付け・取り外しは手袋(手首まで覆われるもの)、長袖作業服などの保護具を使用する。けがの恐れがあります。

施工上のご注意

- ・コネクタ接続の際は、必ず電源を切ってから行なってください。光源ユニットの故障・短寿命の原因となります。
- ・スイッチを接地側に取り付けた場合、消灯後も薄暗く発光する場合がありますので、必ず非接地側(電圧側)に取り付けてください。
(接地極の無い電源では両切りスイッチをおすすめします。)
- ・T/U付6Aリレーを使用する場合、照明器具の接続台数に制限があります。
詳細については、該当T/U付6Aリレーのカタログ・商品仕様書をご参照ください。
- ・当社適合コントローラとの組合せにより、光出力を約10%～100%に変化させることができます。
- ・適合コントローラ及び通信補助器は、当社製品をご使用ください。使用方法、注意事項については、適合コントローラの承認図取扱説明書、施工説明書をご確認ください。
- ・コントローラの結線はコントローラの説明書をご確認ください。
- ・電源線は低圧屋内配線工事、調光信号線は弱電流配線工事が必要です。
- ・調光信号線は電源線と束ねないでください。誤動作の原因となります。
- ・電線管をご使用の場合は、電源線と調光信号線を同じ管内に収納しないでください。

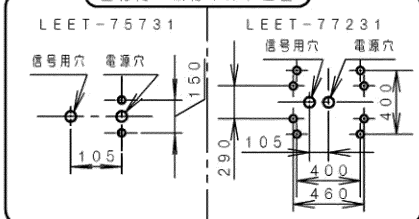
各部のなまえと取付方法

⚠ 警告

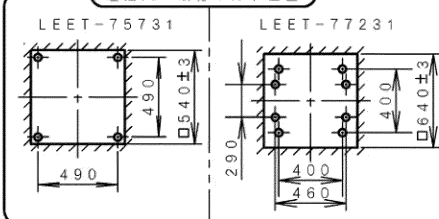
- 光源ユニットの取り付け・取り外しの際は必ず電源を切る。
- 施工は、施工説明書にしたがい確実に行う。施工に不備があると落下・感電・火災の原因となります。

器具の取り付け・取り外しは手袋など保護具を使用する。けがのおそれがあります。

直付用・取付ボルト位置



埋込穴・取付ボルト位置



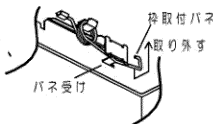
	ボルト出し	ボルト引込
直付施工の場合	15～20mm	—
埋込施工の場合	—	-5～-12mm

付属品



1 取り付け前の確認

- ・器具質量に十分に耐えるよう、ボルト取付部の強度を確保する。
- ・取付ボルトは、W3/8又はM10を使用する。
- ・ボルトは極端な斜め出しにならないこと。
- ・不備があると器具落下の原因となります。
- ・枠取付パネ(4カ所)をパネ受けから外して、枠を本体から取り外す。



2 埋込穴の開口(埋込施工の場合)

- ・埋込穴、取付ボルトを上図のように用意しておく。

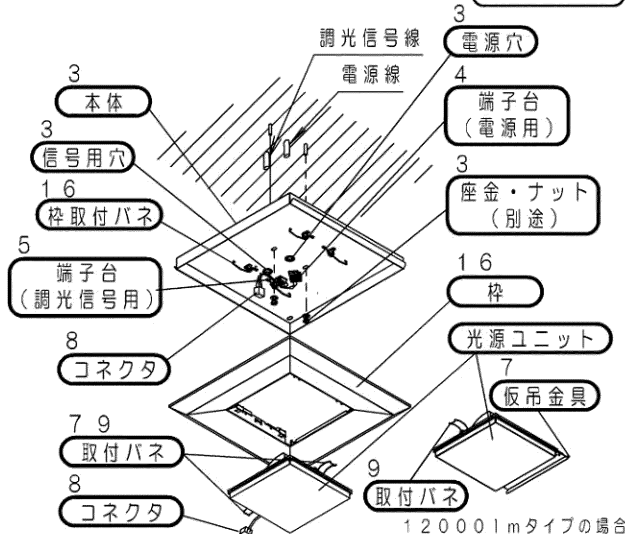
3 本体の取り付け

- ・電源線・アース線を本体の電源穴から引き込んでおく。
- ・調光信号線を本体の信号用穴から引き込んでおく。
- ・内部配線を傷つけないように取り付ける。
- ・本体を取付ボルトに確実に取り付ける。
(推奨トルク 直付時: 1.5 N・m 埋込時: 0.8 N・m)
(締め過ぎると器具・天井材が変形・破損する場合があります)
- ・器具内線を座金やナットで挟み込んでいないか確認する。
- ・不備があると器具落下・感電・火災の原因となります。

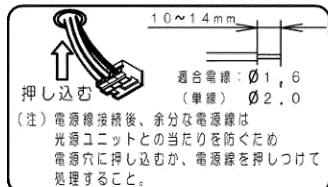
4 電源線・アース線の接続

- ・耐熱チューブ(同梱)を電源線に被せる。
- ※下記「耐熱チューブの取り付けかた」参照。
- ・電源線、アース線を確実に差し込む。
- ・D種(第3種)接地工事が必要。
- ・端子台の最大送り容量は右表の通りです。

明るさタイプ	容量	明るさタイプ	容量
1200lmタイプ	1.2A	6500lmタイプ	1.4A
9000lmタイプ	1.1A	4500lmタイプ	1.4A
8000lmタイプ	1.2A	3000lmタイプ	1.4A



1200lmタイプの場合



(注) 電源線接続後、余分な電源線は光源ユニットとの当たりを防ぐため電源穴に押し込むか、電源線を押つけて処理すること。

各部のなまえと取付方法（つづき）

耐熱チューブの取り付けかた



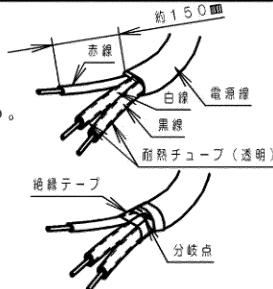
警告

- 耐熱チューブは下記にしたがい確実に取り付ける。
不備がある場合、感電・火災の原因となります。
- 耐熱チューブを切断しない。火災・感電の恐れがあります。
- 電源送り配線を行う場合は、電源線・送り線両方に取り付ける。

注）分岐部分は天井裏にくりよりにしてください。

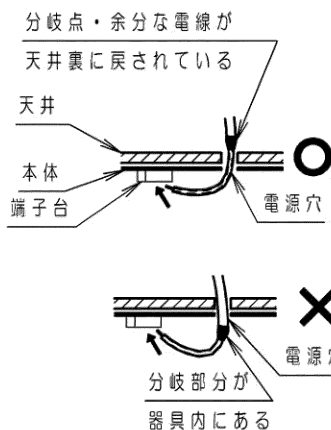
1 耐熱チューブの取り付け

- ・電源線のシース部を剥く。（約150mm）
 - ・同梱の耐熱チューブ（透明）を電源線（黒・白）に被せる。
- 注）・根元まできっちりと差し込んでください。
・アース線（赤）への取り付けは不要です。



2 分岐点の保護

- ・分岐点（耐熱チューブの被っていない箇所）に絶縁テープを巻き付け保護する。
- ・結線後、電源線を電源穴（天井裏）に押し込む。



5 調光信号線の接続

- ・「調光信号用」と表示のある端子台に接続する。
- ・調光信号線を確実に差し込み、固定する。
- ・調光信号線に極性はありません。
- ・端子台（調光信号用）の容量は15Aです。

接続が不完全な場合や容量オーバーの場合、正常に調光できなくなります。

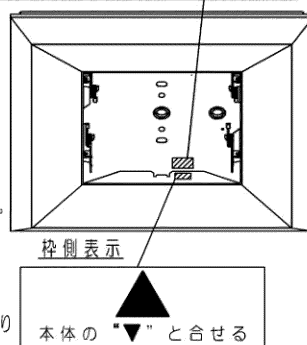
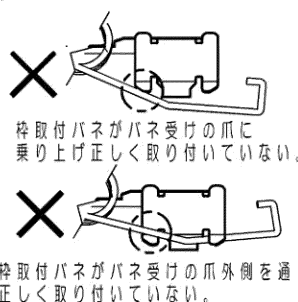
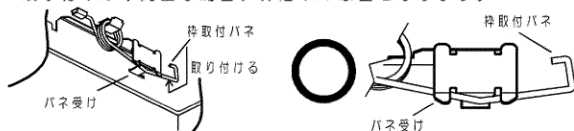


本体側表示



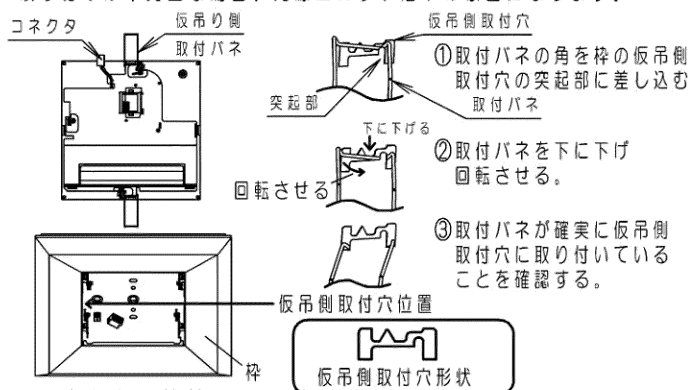
6 枠の取り付け

- ・本体と枠に表示している「▼」の方向を合わせて枠を本体にセットする。
- ・方向を間違えた場合、光源ユニットが取り付けなくなります。
- ・本体の枠取付パネを下図を参照し、枠取付パネをパネ受けに確実に取り付ける（4カ所）。
- ・取り付けが不完全な場合、枠落下の原因となります。



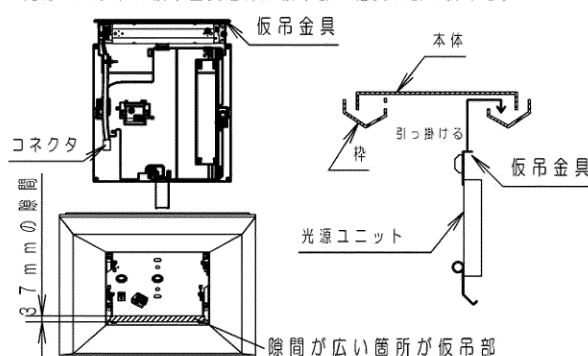
7 光源ユニットの仮吊り（12000lmタイプ以外）

- ・光源ユニットの仮吊側取付パネを枠の仮吊側取付穴に確実に引っ掛ける。
- ・取り付けが不完全な場合、光源ユニット落下の原因になります。



7 光源ユニットの仮吊り（12000lmタイプ）

- ・光源ユニットの仮吊金具を枠の仮吊部に確実に引っ掛ける。

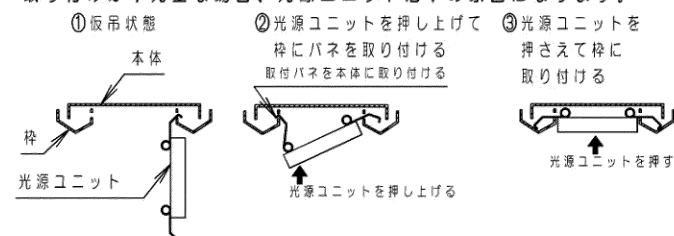


8 コネクタの接続

- ・コネクタを接続する。「カチッ」と音がするまで嵌め込んでください。

9 光源ユニットの取り付け（12000lmタイプ以外）

- ・光源ユニットを押し上げながら、取付パネを枠の取付穴に取り付ける。
- ・光源ユニットを上を押さえ、枠に取り付ける。
- ・取り付けが不完全な場合、光源ユニット落下の原因になります。

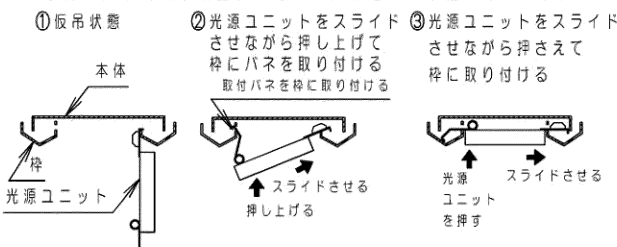


8 コネクタの接続

- ・コネクタを接続する。「カチッ」と音がするまで嵌め込んでください。

9 光源ユニットの取り付け（12000lmタイプ）

- ・光源ユニットをスライドさせながら押し上げて、取付パネを枠のパネ取付部に取り付ける。
- ・更にスライドさせ上に押さえ、枠に取り付ける。
- ・パネ取付部形状
- ・取り付けが不完全な場合、光源ユニット落下の原因になります。



取扱説明

お客様へ、この説明書は必ず保管ください。

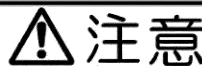
・ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

安全に関するご注意



警告

- 必ず東芝ライテック製スクエアシリーズ専用本体と光源ユニットの組合せで使用する。落下・感電・火災の原因となります。
- 本体、光源ユニットを分解、改造しない。落下・感電・火災の原因となります。
- 光源ユニットのカバーは樹脂製のため、取り扱いに注意する。破損によるケガの原因となります。万一、破損した場合、すぐに電源を切り交換してください。
- 光源ユニットが破損した状態で使用しない。落下、感電、火災の原因となります。
- 万一、煙が出たり、変な臭いがあるなどの異常が発生した場合、すぐに電源を切り、工事に修理を依頼する。そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。
- 光源ユニットを取り外す場合は、必ず電源を切る。感電の原因となります。



注意

- 光源ユニット交換やお手入れの際は、必ず電源を切ってください。感電の原因となります。
- シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤で器具を拭かないでください。変色、変質、強度低下による破損の原因となります。水または中性洗剤を用いて、汚れた部分を軽く拭き取ってください。
- 照明器具には寿命があります。設置して10年(※1)経つと、外観に異常がなくとも内部の劣化は進行しています。点検・交換をおすすめします。LED光源は寿命が来ても、暗くなりますが点灯し続けます。点灯出来るからといって継続して使用が可能というわけではありません。
- ※1：使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯です。
- 周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合などは寿命が短くなります。
- 1年に1回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。3年に1回は工事店等の専門家による点検をお受けください。(「安全チェックシート」は弊社ホームページに掲載しております。) 点検せずに長時間使い続けるとまれに落下・感電・火災に至る場合があります。
- LED照明器具の光源寿命(※2)は、40,000時間です。(照明器具の寿命とは異なります。)
- ※2：光源の寿命は、点灯しなくなるまでの総点灯時間または、全光束が点灯初期の85%に下がるまでの総点灯時間のいずれか短い時間を推定したものです。

使用上のご注意

- ・照射距離が近い時や照射面によっては光ムラが気になる場合があります。予めご了承ください。
- ・光源として高輝度LEDを使用しています。光源部(光源ユニット)を長時間直視しないでください。
- ・ラジオ、テレビや赤外線リモコン方式の機器は照明器具から離してご使用ください。雑音が入ったり、正常に動作しない場合があります。
- ・同時通訳機等の誘導無線をご使用になられる場合、雑音が入る場合があります。事前に確認し、対策を講じてください。
- ・周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合などは寿命が短くなります。
- ・LED素子にバラツキがあるため、光源ユニット内のLED個々、及び同一品番で発光色・明るさが異なる場合があります。予めご了承ください。
- ・電源電圧変動などの影響により瞬間的に明るくなったり暗くなったりする場合があります。予めご了承ください。
- ・点灯直後・消灯直後やエアコンの吹き出しによりプラスチックの伸縮によるきしみ音が発生する場合がありますが、故障や異常ではありません。静かな環境や密集取付でのご使用の場合、きしみ音が気になる場合があります。予めご了承ください。
- ・光出力比(%)と目で感じる明るさ感には相違があります。
- ・コントローラと組合せて使用した場合、下記のような状態がありますが異常ではありません。
- 同一器具または同一品番で点灯および消灯時のフェードのしかたが異なる場合があります。
- 低い調光域では段調光のように動作する場合があります。
- 適合コントローラ側のスイッチで消灯した場合、消灯後も光源ユニットが薄暗く発光する場合があります。
- 調光した状態でコントローラの点滅スイッチをすばやく操作した場合、100%点灯してから設定の調光状態になる場合があります。

保証とアフターサービス

弊社ホームページに掲載のメーカー保証規程をご確認ください。
修理を依頼されるときは『修理サービス規程』をご確認ください。
メーカー保証規程：https://www.tlt.co.jp/tlt/support/warranty/warranty_policy.htm
修理サービス規程：https://www.tlt.co.jp/tlt/support/repair_service/repair_policy.htm
ご不明な点並びに修理に関するご相談は、お買い上げの販売店(工事店)または弊社ご相談センターにお問い合わせください。
その際は商品の形名、お買い上げ時期、故障の状況などをお知らせください。



メーカー保証規程



修理サービス規程

保証について

- ・メーカー保証期間は、商品お買い上げ日より(引き渡し日)3年間です。但し、リモコンなどの付属品は、製品の保証期間にかかわらず、1年間です。
- ・24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は、上記の半分の期間とします。

補修用性能部品の保有期間

弊社は、照明器具の補修用性能部品を製造打ち切り後6年保有しています。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。※補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。※材料の終息等により、保有期間前に修理できない場合があります。

お手入れ

- ・器具の清掃について
水または中性洗剤を用いて汚れた部分を軽く拭き取ってください。
シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤で拭かないでください。
変色・変質、強度低下による破損の原因となります。



警告

- 感電のおそれあり。お手入れ時は、必ず電源を切ってください。
- カバー破損のおそれあり。
光源ユニットのカバーは樹脂製です。取り扱いに注意してください。
- やけどのおそれあり。
点灯中や消灯直後は光源ユニットやその周辺をさわらないこと。

- 定格 ・光源ユニットに同梱の説明書を参照してください。

修理・お取り扱い・お手入れについてご不明な点は

お買い上げの販売店へご相談ください。

販売店にご相談ができない場合は、下記の窓口へ

東芝ライテック商品ご相談センター

0120-66-1048 (通話料:無料)
携帯電話 046-862-2772 (通話料:有料)
FAX 0570-000-661 (通話料:有料)
ホームページアドレス <https://www.tlt.co.jp/>

- お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
- 利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社へ、お客様の個人情報を提供する場合があります。

日本国内専用
Use only in Japan

東芝ライテック株式会社

〒212-8585 神奈川県川崎市幸区堀川町72番地34